

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 3月 1日

事業所名 Plus+days西淀川大野校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個別対応が必要なお子様のために個室を利用したり、広いホールを運動などの活動に充てたりしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			引き続き採用活動を続けております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		ホワイトボードや色分けした部屋等と児童がわかりやすい構造にしております。	バリアフリー化出来ていないので今後は検討していきたいと思えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		支援後に全ての清掃し、清潔に保っております。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々、業務効率化を見直す話し合いを実施しております。また、職員全員で日々の業務を担当できるように振り分けも実施しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートに回答いただいた内容に関しましては、改善案を提示させていただき、日々の活動に活かしています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年ホームページに評価表は公開しております。改善内容に関しては提示を求められたら早急に対応しております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は行っておりませんでした。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		必須研修(虐待・感染症)はもちろん、資質向上のため社内・社外の研修に参加しております。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者様よりヒアリングを行い、個別支援計画を作成しております。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		HUG(成長療育支援システム)を活用し、お子様の支援に役立てております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別支援計画書策定に当たって相談支援事業所、幼稚園等、学校と連携して必要な項目を記載しております。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		現場スタッフ全員が各児童の支援計画に沿ってサポートしております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動担当者を中心に立案し、職員全員に活動内容、留意点を共有しております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節のイベントやお子様の興味関心に合わせた活動を企画しております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		お子様の目標に合った個別課題と集団活動を組み合わせて提供し、支援計画を作成しております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		午後の職員の出勤時間に合わせてその日の活動の流れ、配慮することの確認、HUGに届いた保護者様からのメッセージの共有を行っております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	帰りの送迎の時間の関係と勤務時間帯の異なる職員がいるため、翌日に振り返りを行っております。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別課題時の取り組みの様子を記入するシートを活用してケア記録に反映させています。ケア記録は職員で2段階チェックを行い、保護者様にお子様の様子が詳しく伝わりやすいよう心掛けております。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		支援計画更新時は欠かさず実施しております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している			原則、児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関の担当者と情報の共有はしております。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在、医療的ケア児の受け入れはございませんが、受け入れの場合は各関係機関と連携体制を整えていきます。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケア児の受け入れはございませんが、受け入れの場合は主治医と連絡体制を整えていきます。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在該当するお子様がおりません。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在該当するお子様がおりません。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後は専門機関と連携し研修や助言を受けたいと思います。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		保育所や認定こども園との交流は今までありませんでしたが、今後地域で行われるイベントに参加していきたいと考えております。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		時間がある時は積極的に参加しております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や支援記録、電話、メッセージのやり取りでお子様の情報を共有し、職員にすぐに報告しております。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者会を通して、今後ペアレントトレーニングを取り入れていきたいと考えております。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に運営規定や利用者負担について説明させていただいております。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		ガイドラインに乗っ取り支援内容を作成し、保護者にも支援内容を説明して同意を得ております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		HUGに届いたメッセージや送迎時に保護者様から伺ったお話を児童発達支援管理責任者を中心に職員で話し合い、共有してお返事させていただいております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会を企画して、保護者同士の交流の場を創出していきたいと考えております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談等があれば早急に面談の日程等を調整して対応しております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月「Plus+days通信」という会報を発行しております。またSNSを駆使して随時活動内容を配信しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		メール送信時のダブルチェックや個人名が分かるものは施錠できるキャビネットに収納しております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		電話、HUGのチャット機能を活用し、情報が確実に行き届くようにしております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後は地域の社会資源を活用して交流を図りたいと思います。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		保護者様には契約時に緊急避難先、感染症対策についてをお知らせしております。避難訓練の様子はSNSでも公開しております。職員については避難訓練、感染症の研修を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年数回、地震・火災・水害を想定した避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に服薬があるか、また服薬が開始されたらその都度保護者に確認して全スタッフに共有しております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示書を必要とするまでではありませんが、保護者様からアレルギーの情報、エピペンをバッグのどこに入れてあるかを確認しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットがあった場合は事例集に記載し、繰り返さないよう対応策を考えて実践しております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修、虐待防止委員会を開催しております。支援上、悩んだことはその都度共有し、全員で虐待にあたらぬか考えながら対応しております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		個別支援計画に記載するとともに、契約時に危険を回避する場合は身体を押さえることがあるとお伝えさせていただいております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。